

## 屋上漏水事故

平成 17 年 2 月 15 日、(有)北海道鑑定より平成 16 年 12 月 22 日の屋上を満水とし、オーバーフローとなり漏水事故が発生していたという連絡があった、原因はルーフドレン 2 箇所にゴミと泥が詰り屋上を満水とし、笠木部分より室内に流入したことが事故後、丸竹豊建業の調査で明らかになったと述べている。

(有)北海道鑑定からの連絡は被害修繕費を建物所有者加入の損害保険で対応して欲しいという内容であった。

屋上にはルーフドレンは 3 箇所あり、3 箇所にゴミと泥が詰り漏水が発生したということは、最低でも年 2 回は屋上の清掃が必要であり、それが行われていなかったということであり、漏水事故から 2 ヶ月近くも経過しているが被害調査に赴いた。

屋上は積雪により調査は困難で、建物内部の調査を知人の 1 級建築士と共に行った。

建物 2 階南側の式場の天井の汚れが酷く、他の天井に漏水の痕跡を見る事は出来なかった。また、1 階は 2 階南側の式場下付近の天井に痕跡が見られた。

竣工図を持参しての調査であった。

図面では 2 階式場の天井の汚れの酷い天井上の屋上にはキューピクルが設置され、キューピクル下の屋上床を貫通して幹線を屋内に引込んでいることを知り、屋内引込口より水が屋内に流入したものであるという結論に達した。

雪解けを待って再調査を行うこととした。



キューピクル幹線屋内引込口



2階式場床

